

科目名	デザイン実習2 [インテリア] (卒業必修)				
授業形態	実習	学年	2		
開講時期	2023年度 前期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	<p>デザイン実習Iでは空間を構成する要素と単体空間のデザインを行ったが、ここでは空間どうしが繋がったり、立体的に構成されながら関係性をつくっていく空間のストーリーを住空間と展示空間のデザインを通して学ぶ演習を行う。また、インテリアデザインを行う上で重要なのは外部空間を如何に捉えていくかという点にある。空間どうしの関係性と、さらに外部空間、環境との関係をこの課題を通して考える。課題は住宅の設計課題とギャラリー等の設計課題2課題である。課題の詳細、与件等はガイダンス時に出題する。</p>				
1	住宅設計課題：ガイダンス・課題説明の後各自敷地調査・敷地模型制作				
2	：エスキースチェック、スタディ模型提出				
3	：エスキースチェック、スタディ模型提出				
4	：中間プレゼンテーションパネル、模型提出				
5	：エスキースチェック、図面・模型作成				
6	：エスキースチェック、図面・模型作成				
7	：講評会・プレゼンテーション・審査				
8	ギャラリー設計課題：ガイダンス・課題説明、敷地模型制作				
9	：ストーリーブック提出・発表				
10	：エスキースチェック、スタディ模型提出				
11	：エスキースチェック、スタディ模型提出				
12	：中間プレゼンテーションパネル、模型提出				
13	：エスキースチェック、図面・模型作成				
14	：エスキースチェック、図面・模型作成				
15	：講評会・プレゼンテーション・審査				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	眼を養い手を練れー宮脇檀住宅設計塾	宮脇檀設計塾著	彰国社	9784395006434	2003
参考書	大野秀敏『建築のアイデアをどうまとめていくか?』彰国社 図研究会著『図 建築表現の手法』『図2 建築模型の表現』『図3 建築の図形表現』東海大学出版会				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	出席状況 (受講態度含む)				20
	エスキース				20
	中間発表時の課題パネル・模型等				20
	講評会時の課題パネル・模型等				40
学習到達目標	住宅の設計を通して、建築の設計手法の基礎を学び、魅力的なインテリア空間のデザイン能力を身に付け				

	る。また、展示空間の設計を通して、展示のテーマや地域社会との関わり、運営方法等についても学ぶ。
先修条件	
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	